

OUJ神奈川学習センター なつだより

通巻第47号

2011年7月22日発行

発行:放送大学神奈川学習センター

〒232-0061横浜市南区大岡2-31-1



エンセナーダ港 (メキシコ)(2~4ページに関連記事)

目次	ピースボートで北半周をめぐる地球一周の旅	2~4
	学習センターニュース(放送大学での勉強の仕方/今、日本人に求められている国際人としてのマナーとは/東日本大震災~地震の発生機構と断層~/東日本大震災から学ぶ~環境・防災の地域づくり)	5~7
	面接授業 「書の楽しみ2」「摩訶不思議の物理学2」	8~9
	シリーズ 学びのすばらしさ③ 「学び続けられる好運」	10
	夏休みを利用して感想文を書いてみませんか?	11
	K-サポートからのお知らせ	12~13
	学生サークルからのお知らせ/同窓会からのお知らせ	14~15
	学習センターからのお知らせ	16

神奈川(あなとあそび)



ピースボートで北半周をめぐる地球一周の船旅

藤田 緑

私は退職してからピースボートで北半球を巡る地球一周の船旅・101日間・22寄港地という長旅に2回出かけました。



1. ピースボートってどんな船

世界各地、32カ国の国籍、年代、職業などの異なる人々が一つの船に集い、乗船者1000人前後・クルー300人ほどで航海の旅が2回目は

2010年4月16日に始まりました。

初めてのクルーズでは乗船まで、一人参加なので不安な気持ちでしたが、80%以上の方が一人参加で、すぐ気軽に声をかけあう間柄になり、大勢の乗船者と過ごす時間が楽しくなりました。エネルギー溢る若者たちや一生懸命働き、自分へ贈り物として、また幾ばくも無い余生を楽しく過ごしたいなどさまざまな思いを抱いた方々とオセアニック号38000トンの船で101日間を過ごしました。

地球一周の船旅というとお金持ち、優雅、素晴らしいショーなど豪華・贅沢なイメージがありますが、ピースボートの船旅は移動式の老若男女が自由に学び楽しめる寄宿舍付き学校、それが世界各国の寄港地を巡り、その国の世界遺産や文化を見聞、体験し、学び・理解する。すべて自分が選択する自由な研修旅行といった感じです。アツという間に目的地に到着するフライト旅行と違い、オセアニック号は時速30Km、ゆっくり大海原を進みます。

寄港地到着前にジャパングレイス(ピースボート専用の旅行会社)から寄港地の説明を受け、見どころなどを

つかみ、期待を膨らませて着岸を待ちます。

また船内生活ではカルチャースクールや地球大学、語学教室、囲碁・麻雀教室、映画会、様々な自主企画、フルーツパーティー、フォーマルパーティー、大運動会、夏祭り、69祭 沖縄祭、平和フェスティバル、洋上サーカス、インドネシアナイト、スタッフインターテイメント、洋上結婚式、洋上お茶会などイベントが様々、たくさんありました。

69回のクルーズテーマは「100年後の地球をデザインする。」「持続可能な地球を考える」でした。それに沿って展示とイベントが行われ、しゃべり場、パネルディスカッション、ホロコースト映画会、被爆者証言など多彩にわたり行われました。

2. ピースボートの水先案内人とは？

水先案内人と称して寄港地に関連する事柄や平和、環境、エネルギー、教育、社会問題などを講演して下さる方が、たくさん乗り込み、寄港地に到着する前後にはその国の文化やその国のありようなどを学び、直に見聞すること、感じたことを整理して考える事ができます。

69回の船旅では放送大学教授の高橋和夫先生が中東問題を講演してくださいました。

パレスチナ難民キャンプの宿泊交流体験



パナマ運河 国際奨学生と私

の企画があり、多くの方が参加されました。現地の方の生活や考えていること、感じていることをフィルターを通してではなく、直に肌で感じとる貴重な体験はピースボートならではの企画と言えます。私は残念ながら「ペトラ遺跡探訪、死海の浮遊体験」ツアーに出かけましたので、この企画に参加できませんでしたが、参加したメンバーが報告会を設定してくださったおかげで、その様子を知ることができました。

ラグアイラ(ベネズエラ)からは中南米で特派員として活躍された現役の朝日新聞記者・伊藤千尋

さん、子ども・女性への虐待防止専門職の養成に 30 年近く携わってこられた森田ゆりさん、国際奨学生 (IS)13 名が乗船しました。伊藤千尋さんは「反米大陸—米国から自立する中南米」「一人の声が世界を変えた」「うたの旅人」「活憲の時代・理想は実現できる」などを講演してくださいました。私はそのパワーに満ち満ちた話しに感動し、今の日本も希望の持てる国にできるのではないかと心を揺り動かされました。水先案内人は著書や講演、またテレビなどで知名度のある方やその方面では知る人ぞ知る専門家がボランティアで乗船してくださいます。ピースボートスタッフは並々ならぬ情熱と粘り強さ、冒険心で水先案内人としてボランティア乗船をしてくださるよう交渉するそうです。おかげで私たちは素晴らしい水先案内人と一緒にできるのです。水先案内人と同じテーブルで食事したり、デッキで海を眺めたり、身近でお話できる日常は素敵でした。

3. ピースボートの船旅は外国旅行の初心者にはうって付けです。

船内の自室(自宅)と学び場と一緒に移動し、寄港地まで自室(自宅)でゆったりと過ごすことができます。着岸すると、そこは外国です。自室(自宅)から数十歩出ると外国の地なんて信じられない気分です。寄港地では世界遺産巡りに出かけたり、ぶらり町をのぞき、その国の人とふれ合ったり、その国の味を楽しんだり、思い思いのことをします。

また外国語が苦手な私でも乗船者同士が情報交換し、どこに何があり、どのようにして行くのか等分り、安心でした。大抵の人は各国のスーパーマーケット・郵便局を探します。若者は外国語をしゃべれる人が多く、うまくなくても「体当たり」で外国を楽しんでいました。若者の恐れず一歩出る勇氣、体力尽きるまで燃える情熱、それは私に勇氣を与え、励ましてくれるものでした。

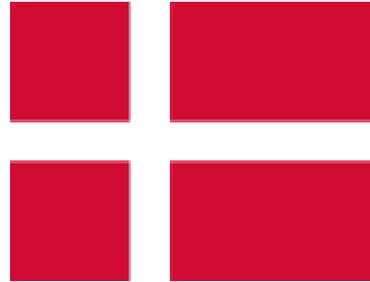
4. クルーズによって寄港地に特徴があります。

56 回のハイライトは「ケニア、ベネチア」、69 回は「北欧」の寄港でした。私にとって北欧は未知の世界、興味を惹かれました。絶好のチャンスと思い乗船を決めました。

北欧は環境先進国と謳われ、「スローライフ」の発信地であるスカンジナビア諸国:コペンハーゲン(デンマーク)・ヘルシンキ(フィンランド)、ベルゲン(ノルウェー)また、バルト海沿岸のサンクトペテルブルク(ロ

シア)、グダククス(ポーランド)、北海を経てダブリン(アイルランド)を訪れました。

5. 今回の寄港地のハイライトである北欧・デンマークについてお話します。



デンマーク王国国旗



デンマーク国章

● 北欧の水先案内人の一人としてデンマーク・コロン島在住のニールセン北村朋子さんが乗船されました。職業はライター&ジャーナリストです。

コペンハーゲン

からベルゲンまで 10 日間、北欧・デンマークにまつわる講演をしてくださいました。自分のライフスタイル、食、子育て、教育、環境・



コペンハーゲン海上の風力発電 エネルギー風力発電 代替燃料...

● デンマークは北海に面したユトランド半島、バルト海にあるシュラン島など、500 程の島からなり、世界で唯一「島」に首都・コペンハーゲンがある国、面積 4 万 3000km²、(九州とほぼ同じ)、約 551 万人(2009 年 3 月時点、神奈川県の人口 580 万人)、世界で一番幸せな国」と言われています。

● 税金は所得税 50%消費税 25%、「ゆりかごから墓



場まで」安心して暮らせる優れた福祉国家です。

● デンマークの環境とエネルギー政策では自然エネルギーを

重要視し、現在は自然エネルギー自給率100%です。コペンハーゲンの入港では20~30機はあろうか列をなした海上の風車が私たちオセアニック号を迎えてくれました。

また道路は「人、自転車、車」と3種線に分かれていて、自転車は人や車の中を危険にさらされることなく走ることができます。貸し自転車もあちらこちらにありました。電車には自転車専用車があり、自転車をどこにでも運べ、利用できる社会でした。資源ごみ回収も進んでおり、町に大きな回収容器が見られました。

●デンマークの教育は日本の教育とは大きな違いがあります。NHKでも報道されたことがあります。幼児教育では「森の幼稚園」というものがあり、春夏秋冬、すべての活動を森の中で行うものです。自然は最高の教材であり、人間が生きていくのに必要な知識はすべて自然の中から身につけられるというデンマーク人の思想が流れています。また生まれてすぐから子供が自分自身で伸びていくのを見守る大人の関わり方をするモンテッソーリの考えの子育てをしています。

学校教育でも一人一人の個性を尊重し、能力を伸ばす教育が行われています。日本のようにテスト攻めの学校教育ではありません。ストレートに3年制の高校に進学するのは50%、進路の選択肢は実にたくさんあり、大学進学率は20%と少ないですが、教育レベルは高い。

石油ショック以後、原発に依存する日本とは180度違うエネルギー政策をとったデンマークはこうした教育によって、必要な所には時間をかけて議論し、国民の合意に基づき決定する。時間や人を大切にするデンマークの教育のたまものによって自然エネルギー自給率100%となったのです。

●デンマークは優れた農業国で国土の半分以上が農地利用されています。農産物の2/3は輸出用、豚肉に関してはヨーロッパ最大の輸出国です。私は古城を巡るツアーに参加し、バスの車窓から北海道を思わせる広大な穀倉地帯を眺めながら目的地へと向かいました。緑の絨毯の中に菜の花畑の黄色とまた放牧された牛が草を食べているのどかで、ゆったりと時間が過ぎていく風景が続き、デンマークは農業国なんだと肌で感じると同時に、日本の荒廃したみかん山や田園の様子を思い起こし、「なんとかならないのかなー」と問題意識が強まりました。デンマーク

は農業教育にも力を入れ、農民を育て、優れた農業国となっています。デンマークは人をじっくり育てることで資源の少ない小国でありながら見事に環境先進国、優れた福祉国家、優れた農業国となったのです。

ニールセン北村朋子さんの私たちへのメッセージ、「子供も大人も遊んだ方が大きくなれるよ ありがとう また会いましょう」この言葉はデンマーク人のライフスタイル:「人生を楽しむ」を言い得ていると思います。

6. 船旅で得られたものは？

●自分と向き合うことができたことかな？

船という非日常の中で、気づいたことは、自分の体がいかに老化に向かっているか、健康を作り上げることがこれからは大事。また私は世話好きで、人の中で自分の存在価値を見出している事に気付きました。

●たくさんの友を得たこと。友と楽しい時間を過ごし、様々な人生模様や人生観を勉強させていただきました。年配者には豊富な経験と知恵を、また若者には今の時代にもこんなに素晴らしい若者が存在しているってこと。

●ノルディックウォーキングのインストラクター資格を取得しました。

7. 船旅の思いで

オリヅルプロジェクトのパートナーとして活動したこと。「朝日に叫ぼう」、「walk the talk」朝活を毎日やったこと。平和の歌を歌うお手伝いをしたこと。キリンバーで過ごした飲み友達、プチ水先案内人として横浜を紹介したこと等等。101日間、日の出、日の入りを楽しみ、充実した日々の中で、今後の自分の生き方が見えてきました。





放送大学神奈川学習センター

オープンキャンパス

放送大学神奈川学習センターでは下記の日程でオープンキャンパスを開催します。
「放送大学についてもっと知りたい!」「入学したいけど手続きはどうか?」
など様々な質問・ご相談にお答えいたします。

皆様の多数のご参加をお待ちしております!

【日時】 8/6 (土) 8/14 (日)
8/20 (土)、8/21 (日)
各日 14:00~16:00

【会場】 放送大学神奈川学習センター
(〒232-0061 横浜市南区大岡 2-31-1)
市営地下鉄「弘明寺」下車 徒歩5分
京浜急行線「弘明寺」下車 徒歩12分

大学概要
施設見学
個別相談など
受け付けます!

【お問合せ・お申込み】
放送大学神奈川学習センター
電話 045-710-1910

平成23年度10月入学生募集中!
出願期間:平成23年6月1日(水)~平成23年8月31日(水)

お知らせ

個別相談会

事前予約制です

放送大学

学生の選択について?
授業科目の選び方?
出願書の記入の仕方・必要書類は?
入学から単位取得までの流れは?
卒業要件など...
ご相談・ご質問お受けします!

「入学及び出願」に関するお一人・お一人の相談をお受けする個別相談会を開催いたします。
お気軽にご相談・ご質問を!
当日、図書室・実習室・実験室をご用意いたします。
ご希望者は視聴学習室での科目ビデオ等の視聴体験もできます。
是非、お越し下さい、お待ちしております!

【日時】 8月23日(火)~8月31日(水)
*29日(月)を除く
午前 10:00~12:00 午後 2:00~5:00

【会場】 放送大学神奈川学習センター
(〒232-0061 横浜市南区大岡 2-3-1)
市営地下鉄「弘明寺」下車 徒歩5分
京浜急行線「弘明寺」下車 徒歩12分

【お問合せ・お申込み】
放送大学神奈川学習センター
電話 045-710-1910

平成23年度10月入学生募集中!
出願期間:【教養学部】[修士科目生・選科生]平成23年6月1日~8月31日(必着)
【修士全科目(平成24年4月入学)]平成23年6月19日~9月2日(必着)

◆神奈川学習センター改修工事について◆

センター1階・2階の最終改修工事を行うことになりました。
今回の改修工事に伴い、事務室が1箇月程度の間、会議室に仮移転します。
工事期間中は、大変ご不便・ご迷惑をおかけし騒音等も出ますが、ご協力くださるようお願い申し上げます。
なお、事務室の仮移転の日程が決まり次第、掲示やホームページでお知らせいたします。

工事期間: 平成23年8月8日(月) ~ 平成23年9月30日(金)[予定]

【新任職員紹介】

放送大学神奈川学習センターに平成23年7月1日付け採用になりました。

どうぞよろしくお願いいたします。

新任事務職員	
教務係長	奥田 耕造

【退任】

放送大学神奈川学習センターを平成23年6月30日付け退任されました。

退任事務職員	
教務係長	小方 典子

放送大学での勉強の仕方

放送大学に慣れていない新生を対象に「放送大学での勉強の仕方」が、4月24日渡邊所長が講師なられ行われた。

履修科目数について入学時は、最大でも4～5科目程度が適当で、それより少なくてもかまわない、先ずは、楽しく学ぶ習慣を持つことが大切。そして、放送大学の単位制度については、単位計算の複雑さを話された後、単位取得後に成績通知やシステムwakabaを使って確認すれば、これから先取らなければならない単位を知ることが出来るので、実質的に自分で単位計算を行う必要がないことを説明されました。また、通信指導は、



何を見ても良いので、必ず回答して提出すること。外国語科目の苦手な方は、面接授業で単位を取るの方法もある。2学期からは、そういう要望に応える「学びなおしの英語」という科目も開設される。単位試験対策は、通信指導問題、自習型問題、図書室カウンター内に置いてある単位認定試験の過去問(過去一年分、一部非公開の科目あり)等も活用して学習してくださいとのこと。面接授業や、卒業研究、質問、客員教授のゼミ、UPO-NET、K-サポートの学習相談など、いろいろな学び方、学習ツールなどの説明もありました。放送大学の学びの第一歩のための有意義なお話でした。



同窓会主催講演会 「今、日本人に求められている国際人としてのマナーとは」

5月22日放送大学神奈川同窓会の第22回通常総会が開催され、引き続き総会終了後に、公開講演会が開催されました。

講師は、吉門 憲広さん演題は、「今、日本人に求められている国際人としてのマナーとは」元日本航空国際線キャビン

スーパーバイザーとしての貴重な経験を元にお話しをしてくださいました。

同窓生の 吉門 憲宏さんによる「今日本人に求められている国際人としてのマナーとは」と題して講演がありました。航空会社の客室乗務員の経験からのお話でした。特に心に残った事柄といたしまして

1 歩き方 前に歩いている人との距離 1メートル20センチは離れて歩きましょう。スリにご用



心 外国では其のくらい離れていないと危ないそうです。ちなみに日本人スリはスリに狙われる人が多いのだそうです。

2 レデーファストであるべきである。

3 コミュニケーションについて 口に出して言わなくては相手に伝わらない。私たち日本人は口に出して言わなくても暗黙の了解とか口に出して話さなくても通じてしまう 以心伝心とかは世界には通用しないのだということを声を大にしてお話していらっしゃいました。

相手の目を見てサンキュウ。相手の目を見てスマイル。エキスキュズミー。日常何気なくする行動も一寸気を付ければ少しずつ変われるかもしれませんね。

赤松 孝子



神奈川学習センター公開講演会「東日本大震災～地震の発生機構と断層～」

6月19日、横浜国立大学の有馬眞教授による講演会「東日本大震災～地震の発生機構と断層」が、放送大学の内外から120名を越える参加者が集って開催されました。

はじめに、地震とはどういうものか。日本周辺では、海溝型地震、直下型地震があると言った説明があったあと、今回の東北地方太平洋沖地震についての話に移りました。

平成23年3月11日午後2時46分三陸沖の地下25キロという浅いところで起こったマグニチュード9.0のプレート境界型の地震。宮城県北部で震度7 横浜、東京は、震度5強。断層が滑った領域は、長さ約500km幅200km。宮城県沖が破壊がはじまり。マグニチュード7を超える余震も多数発生しているほか、震源域から外れる地点で、内陸型の地震も多く誘発している。

観測された地震波形から震源付近と、福島県・茨城県沖に二つの大きな断層のずれを確認している。最大すべりは、23m(兵庫県南部地震では2



m)その後、岩手県沖から茨城県沖までの広いプレート境界で約3分かけて大きなずれが発生した。

この場所には、数百年かけて、ひずみが溜まっていた。その間マグニチュード7～8の地震が発生していたが、それでは、溜められているはずのエネルギーの20%程度しか使われておらず謎であった。今回の地震から海溝型の地震は、マグニチュード7～8程度の地震ではすべてのエネルギーが解放されない可能性がある指摘されている。

JAMSTECの深海調査船「かいれい」を使った緊急調査があり、海底の精密な地形を調べた。海溝軸では縦に7メートル、横に50メートルずれていることが確認されていて、これが津波を起こした原因と考えられる。さらに知りたい方は、東京大学地震研究所などのサイトの情報を活用されると良い。とのお話でした。

2学期には、有馬先生の面接授業「大陸地殻進化と現在の地球」が行われます。



神奈川学習センター公開講演会「東日本大震災から学ぶ～環境・防災の地域づくり～」

6月26日、横浜国立大学の佐土原聡教授をまねいて講演会「東日本大震災から学ぶ～環境・防災の地域づくり～」が、開催された。

4月のはじめ仙台、石巻などを調査してきた。(写真上) これからは、災害リスクの極端に大きい土地の利用は避けた上で、その地域の災害対策を主眼とし、災害リスクをある程度許容しながら、災害対策に地球環境対策を相乗させ



て効果を図るべきである。都市域を対象とすると、斜面緑地などに見られる生態系サービスの活用。地域冷暖房などによる都市のエネルギーの有効利用。対策を考える上での基礎となる地上・地下水の流域データなど。古来から日本人は、欧米人のように自然を克服するのではなく、自然と融和することを考えてきた、今回の災害を契機に地球環境と防災について、日本人の自然観に立ち返り、住まい方を見直す時期ではないか。と纏められた。

書の楽しみ2-想いを書にする-

講師：青山 浩之（横浜国立大学准教授）

【授業内容】

想いやぬくもりを伝える文字。日常の手書き文字が、言葉以上に自分の気持ちを伝えてくれることもあります。本授業の前半では、文字を書くことが相手意識や目的意識をともなった「伝え合う」言語活動であることをあらためて確認し、読みやすく伝わりやすい日常の硬筆文字を実習します。後半では、筆記具を毛筆に持ちかえて、筆で書くことそのものを楽しみながら、自分らしい書の表現を体験します。

【学生へのメッセージ】

硬筆では、「お手本」を書き習うのではなく、自分の書き文字を見つめ、自分で気づきながら効果的な書き方を身に付けていきます。毛筆では、毛筆そのものの機能を知って、表現の意図に合った線や形の表し方を身に付けます。

（以上、授業案内より）

5月21日から22日にかけて行われた「書の楽しみ2-想いを書にする」の2日目の授業を取材しました。

授業1日目は硬筆、2日目は、最初に硬筆の復習。毛筆の講義と、教室を実験室に移して毛筆の実技を行った。

硬筆の復習では、5つの書写の技能

- ①姿勢・持ち方
 - ②筆使い ③筆順
 - ④字形 ⑤配列・配置
- ④の字の形を整えてゆくには、①～③の前段階があって、これがしっかりと身につくことこそ字形が整うという発想が必要。字は、急には直らないとを感じてほしい。書いている線ばかり見ていると全体が捉えられないので、俯瞰して、全体を見ながら書いてゆく。文字の形を囲



講師の青山浩之先生



んだ外形をイメージして字の中心を揃える。外形は、6種類に分類でき、これを意識するとスムーズに書けて見やすい、活字のような真四角な外形より、見る側はもちろん書く側のことも考えると、この6種類となる。そして、毛筆。はじめに、中国のある若手書家が、コンテスト入賞を目標に書に打ち込む様子を写したビデオを見て、講義へと進んだ。書を通して自分を表現したい、人に伝えてゆきたい。そういう気持ちは、書家であっても私たちでも共通するものがあると感じた。それから、教室を第1実験室に移し、1テーブル8人ずつのグループに分かれた。机の上に硯や筆を並べて、筆のほぐし方などの説明。ここでお昼休みになった。



午後は、筆を握って書に取り組む、墨をすり、濃淡の表現を学ぶため最初は薄墨。筆の使い方を説明しながら、冗談を交え笑い声の聞こえる楽しい授業。それから、喜怒哀楽などの表現に進むにつれ、教室が緊張感に包まれた静寂へと変わっていった。

授業の終わりは、皆で机を回っての作品鑑賞。個性と表現力あふれる書が並び、受講生が2日間講義で、書で想いを表現して伝えるか・・・得られたものは大きかった。なお、講義が終わった後も、忘れないようにテキストを使って時々復習してほしいとのことでした。

※すべての写真は、毛筆の実習中に撮影しました。



テキスト(右の2冊)と参考図書

摩訶不思議の物理学2

講師: 渡邊 慎介
(放送大学神奈川学習センター所長)

【授業内容】

物理は難しい学問です。一つ、あるいは複数の基礎方程式を特定の条件のもとに解き、その解を使って運動や現象を説明します。また、その説明には、論理の積み重ねも必要になります。だから難しいのです。私たちの身の回りにはたくさんの物理現象がありますが、数式を使わなければその現象を理解できないのであれば、その面白さを楽しめないこととなります。この面接授業では数式を使わずに、物理の面白さを説明します。日ごろから不思議に思っている現象を言葉で、しかもなるべく原理や法則に基づいて考えてみたいと思います。教室でできる簡単な実験もいくつか取り入れます。物理が楽しい学問であることを体験して下さい。

【学生へのメッセージ】

物理は言葉の学問です。物理の楽しさを語り合みましょう。

(以上、授業案内より)

6月18日から19日に神奈川学習センター所長の渡邊先生による面接授業「摩訶不思議の物理学2」が行われました。渡邊先生は、同じところで同じ授業は2回行わないとのこと、去年の摩訶不思議の物理学とは異なった授業内容でした。



授業は、身近な物理の現象を、1時限ごとテーマを決めてその中から、幾つかのエピソードを取り出して説明してゆくスタイルです。

たとえば、摩擦の話では、伸ばしてある綱を引くとき、長さが2倍になったら2倍。3倍になったら3倍と摩擦(引くのに必要な力)は、増えてゆく。では、

丸い棒に綱を巻きつけたらどうか？ 綱の長さ、すなわち巻く回数に対して急激(幾何級数的に)引くのに必要な力が増加してゆく。

また「棒高跳びで飛び越せるバーの高度は？」のお話では、棒高跳びの助走によって得られる速度から、運動エネルギーの量を求めて、それを、位置エネルギーに変え



たととして、何メートルのバーをこえられるかを考えた。そこから得られた数値は5メートル。ところが、世界には6メートルを超える記録を持つ選手が15名もいる。どうしてだろう？。受講者からは、

跳びあがってから手の力でバーを押していること、踏み切ったときの重心自体が床面ではないことなど、さまざまな意見があった。先生も、バーを越えるときに体を大きくそらせることで、重心がバーより低い位置にあったまま、体はバーの上を越えているのではないかという推測をされた。実験があり、自由な雰囲気での質問、意見も出て、日常の目にすることに物理の考えで見ると授業だった。渡邊先生の授業2学期は、数式を多用する「微分方程式で学ぶ力学」が開講される。



摩擦の実験、棒に紐を巻いて引っ張る、一巻きくらいでは簡単に外れてしまうが、5回くらい巻くと全く動かなくなる。



学び続けられる好運

大花 幸子

放送大学に入学される方は、それぞれの目的を持っておられます。学位を取得したい、教養を高めたい、資格を取りたい、スキルアップをしたい等と思います。私の場合は、放送大学開校以前から大学設置に関する新聞記事をスクラップして、心待ちにしていたので開校と同時に入学しました。当時小学生に書道を教えており、児童の知力が年々めざましく向上するのを感じ、教える側も書の技術の研鑽はもちろん、知性も研かなければと考えたからです。学習センターでの面接授業や単位認定試験時に一生懸命勉強している仲間に出会い、大いに刺激されました。サークルにも入りました。個々に入学しますが、ひと度入学するとすぐ友人になれるのも、放送大学が高い見識を持った意欲的な生き方をする学生の集まりだからだと思います。私は教養学部の一回目の卒業の区切りにと放大外部で学芸員の資格を取りました。二回目は卒業研究だけを二年かけてじっくりと取り組みました。学生独自の学習計画を自由に立て、特徴ある学び方ができるのも、放送大学ならではの利点です。その上、優秀な先生方の執筆による印刷教材を備えての学び切れない程の科目があるのは、他大学では考えられないことです。幅広い年齢の学生が在籍しておられるのも魅力です。

ONAIR No.100 で2008年ノーベル物理学賞受賞 小林誠先生をお迎えしてと対談の記事がありました。大学側の生井澤先生が「放送大学の学生にひとこと」でおっしゃったのに対して、小林先生は「放送大学の講義には感心しておりました。多彩で特徴のある講義をなさっている、と。放送大学という生涯学習を友に、人生を知的に高めて楽しんでいただきたいと思います。」とおっしゃっていました。私は最後のくだりは、論語の中の孔子の「これを知

る者これを好むものにしかず。これを好むものはこれを楽しむものにしかず。」に共通するものがあると思いました。

神奈川学習センターでは、視聴学習室、図書室、実習室が充実しており、教員の方々、事務の方々の在學生、入学希望者に対する配慮が行き届いています。学習上の質問も気軽にできます。

学習交流の場としてサークル活動が盛んで、十団体が熱心に活躍しております。

他学習センターに先駆けて「K-サポート」制度が発足して、四チームが活動しています。私は「学習支援チーム」に加わっておりますが、相談に見える方々から教えられることもたくさんあります。チームのメンバーは多方面で活躍されておられる(おられた)方々ですので話題も興味深いものがあります。

再入学生も多く、放送大学は真の生涯学習が行われる、恵まれた環境を提供していると思います。放送大学は、私にとってこれまでもこれからも、生活の中で太い柱となって支えてくれると思います。



プロフィール

横須賀市在住。1990年3月「発達と教育」専攻で卒業。1997年3月「社会と経済」専攻で卒業。現在は修士選科生。趣味は、書道、作歌、新聞記事のスクラップ、ウォーキング。

夏休みを利用して感想文を書いてみませんか？

横山 深雪

「人生から何をわれわれはまだ期待できるのが問題なのではなくて、むしろ人生が何をわれわれに期待しているのが問題なのである。そのことをわれわれは学ばねばならず、また絶望している人間に教えなければいけないのである。」とは、ヴィクトール・E・フランクルの『夜と霧』からの引用文です。

絶望のさなかでも、強く生き続けたフランクルのこの言葉は、今もなお多くの人々に感動を与えてくれています。

未来へ何を遺すか、よりよい未来のために今できることは何か、理想を持ち続け、問い続けて生きることには、きっと何らかの意味を成す時があるのではないかと思います。

前年度、はじめて開催された放送大学叢書感想文コンクールを、ご存知でしょうか？昨年秋頃から、学習センターにポスターが貼られ、また、大学から届く郵便物にも、感想文コンクールが開催されるというお知らせが同封されておりました。昨年度は57名の方が応募されたそうです。放送大学叢書は「放送大学の授業で用いられた印刷教材を、豊かな文化的教養の書としてあらためて世に送り出し、放送大学の教育成果を広く社会に普及させることを目的に刊行された(左右社)」そうです。コンクールの感想文応募期間は、2月いっぱい、学生にとっては2学期の単位認定試験が終わった後ですから、その疲労感と解放感、軽い喪失感などが入り交じった特別な期間かもしれません。

しかし、今年度は2学期が始める前のこの夏休みを利用して、感想文を書いてみるというのはいかがでしょうか？

この大学にはさまざまな学生がいると思いますが、やはり社会に一度出てから学生になっているという方が圧倒的に多いのではないかと思います。社会に一度出てから学生になるということは、義務教育を受けていた頃とはまた違って、それぞれに何らかの学問への希求というものを持っているのではないかと思います。

コメニウスは『光の道』の中で次のようなことを言っています。「我々がこの最初の状態に満足していたら、我々は他の書物を何一つ必要とすることはなかったで

あろう。しかし、我々が道に迷い無数の過ちに陥り、いまだ互いにばらばらにさまよっている以上、我々は互いを結びつけるための道具や手段を手に入れる必要があるのだ」と。

この道具や手段を、「言葉」と読み替えることもできるかもしれません。そしてまた、学問への希求を持って集まった人々の言葉から、同じように学問への希求を持ってきた人々が何らかのインスピレーションを得ることもあるかもしれないと思います。残された言葉がさまざまな人々を結びつけることもあるかもしれません。

放送大学叢書感想文コンクールでは、応募された作品を文集としてまとめてみるという企画も出ているようです。ぜひ、作品を応募し、「言葉」のアーカイブを作り上げていきませんか？

参考として、2010年度のポスターを掲載いたします。放送大学叢書感想文コンクールは今年度も開催を予定していますが、詳細については後日、ホームページ等でお知らせいたします。なお、文字数等の形式も昨年度のものに変更になる可能性があります。



放送大学神奈川学習センター 使用電力15%抑制-実施中-

背景

東日本大震災により、東京・東北電力管内の電力の供給力が大幅に減少。これにより、夏期に向けて更に悪化する見込みである。このため、放送大学神奈川学習センターとしては、政府の要請に基づき、使用電力抑制計画を策定し、率先して一層の節電を実施する。

実施期間

平成23年7月1日～9月22日（平日）の9時から20時

≪施設利用者への御協力依頼≫

【照明】

◇人がいない部屋は
こまめに消灯

【OA等】

◇使用していないTV等の
電源プラグを抜く。
◇暖房便座・温水洗浄便座
は停止。
◇電気ポット等の原則使用
禁止（保温ポットに切替）

【空調】

◇冷房中の室温は
28度に徹底

【その他】

◇熱中症の予防(水分確保)
◇階段の利用を促進

平成23年度神奈川学習センター「学生研修旅行」について

下記のとおり研修旅行を実施いたします。
参加希望の学生は、事務室までお申込ください。
(定員に達し次第締め切りとさせていただきます) <11/15現在>

研修テーマ:「緑のダム・横浜の大水源を訪ねる」

研修目的:水は私たちの生活に欠かせないものです。横浜市の水源を訪ね、「水とエネルギー」をテーマに研修会を行います。宮ヶ瀬ダム・水とエネルギー館、道志村・水源の森を訪問します。

1. 日 時: 平成23年10月5日(水)8:30～17:40【雨天決行】
2. 研修場所: ①宮ヶ瀬ダム 水とエネルギー館 ②道志村・水源の森
3. 募集人数: 37名(先着順)
4. 申込受付: 7月22日(金)～神奈川学習センター窓口(直接)にて
(参加費を添えてお申込みください。窓口以外での受付はできません。)
5. 参加費: 1,970円(昼食・インクライン片道・旅行保険料)
(参加費は、約款なしでお願いいたします。)
6. 研修指導: 原田順子准教授(所長・客員教授・事務長同行)
サポーター・ボランティア(バス研修・行事サポートチーム)
7. 研修日程: 8:20 横浜駅西口天理ビル前集合
8:30 出発
10:00～ 宮ヶ瀬ダム 水とエネルギー館・昼食
14:00～ 道志村・水源の森
15:10～ 道の駅どうし(休憩)
17:40～18:00 横浜駅西口着(予定)解散
8. その他: ①参加者には簡単な感想文及びアンケートを提出していただきます。
②観光バスを利用します。
③「研修パンフレット」及び「諸注意等のお知らせ」は9月中旬に送付する予定です。
④昼食は、水とエネルギー館内のレストランでとります。

Kーサポートからのお知らせ

○バス研修・行事チーム

平成23年度学生バス研修旅行のご案内

目的地:宮ヶ瀬ダム、道志村

開催日:10月5日(水)

募集期間:7月22日(金)から先着順

申し込み:学習センター事務室窓口へ

費用:1,970円(申し込み時に支払い)

※詳細は、上記ポスター参照。

○学習相談チーム

Kーサポート学習相談、第1学期は、6月19日に終了しました。第2学期は、10月2日(日)の「入学者の集い」、その後、10月15日から12月18日までの土曜日と日曜日、午後1時から午後3時50分の間、2階、談話室の相談コーナーで行います。予約は不要です。放送大学での学習に関して困って

いる点に限らせていただきますが、まずは気軽に何でも相談にきてください。11月下旬に提出する「通信指導」についても、助言や指導いたします。

○地域連携チーム

私たちウォーキングの会は11月5日のウォーキングに向け準備を進めています。リーダーたちは皆様の良きガイドが務まりますよう、学習を進めている最中です。

学習が進むにつれ、この金沢の地が歩んできた道のすごさを思い知らされています。時代の流れとともに日本の歴史の舞台に登場



北条正子が勧請した琵琶神社

している金沢です。11月5日、当日はウォーキングをしながら説明させていただきます。鎌倉時代には・・・江戸時代には・・・金沢の近代化はどのように発展してきたのか?など・・・現在は埋め立てられ、街化・住宅地・工場地帯となった金沢ですが、今なお自然の海岸線を残す緑豊かな野島、世界遺産に推薦したい金沢文庫・称名寺など寺社が多く存在しています。

私たちの学習会は学習センターの掲示板にも載せていますが、映像による学習で、どなたでも参加できます。いろいろな角度から映像を見ます。放送大学教材の日本古代中世史も学習の一部です。この教材は歴史上の事柄を学問としてまとめているので、ドラマや本に出てくる事象を整理して考えることができます。鎌倉時代を勉強したい方、金沢の歴史や自然に触れたい方、金沢の地元の方など・・・勉強になる事、請け合います。時間が採れましたらご参加ください。そしてご一緒にウォーキングに出かけましょう。



伊藤博文達が明治憲法を草創した地

放送大学神奈川学習センター 11時から2時間程度 どなたでも参加できます 無料

7月 6日	神奈川再発見 「石橋山の戦い」 「北条時宗とその時代」	日本の古代中世史 11巻 「中世前期の神仏と文化」 45分	「北条時宗」前編 100分
8月 3日	「金沢今昔」30分 ～六郷の歴史を歩く～	日本の古代中世史 12巻 中世社会の変質と南北朝内乱 鎌倉幕府の鎮圧 45分	「北条時宗」後編 100分
9月 7日	鎌倉の切り通し 30分 よみがえる中世都市 鎌倉 30分 城塞都市鎌倉 30分	中世文化と北条氏 1 中世文化と北条氏 2 8-15分	
9月 21日	下見ウォーキング		
10月 12日	ポイント学習	未定	
10月 19日	ポイント学習	未定	

ウォーキングの会 藤田 緑

OUJ神奈川学習センターだより編集部

赤松、家田、入江、遠田、笠井、木下、津村、筈崎、三野、和田
(50音順、以上、K-サポート機関紙編集チーム)
垣谷(K-サポート事務局)
石塚(学習センター事務局)

OK-サポート事務局

K-サポートでは年間を通じサポーターの登録を受け付けております。

神奈川学習センターの学生、院生、卒業(修了)生、であれば、どなたでも登録することができます。現在は、「学習相談」、「機関紙編集」、「地域連携」、「バス研修・行事サポート」の4チームが活動しています。ご応募の際は、事務室窓口で登録用紙を求め、氏名、学生番号、E-mailアドレス、活動を希望するチーム(複数可)等を記入してご提出ください。事務局アドレス:ksupport@ouj.ac.jp 宛にメールでご連絡いただくのでも結構です。

お申し込みやお問い合わせをお待ちしております。

事務局 垣谷江里子

編集後記

船旅の記事、1年半前から掲載企画がありました。旅に3ヶ月、寄稿者の多忙もあり半年かけて原稿となりました。けれど、全文掲載したいと思うと長文なこともあって紙面が無く、今回、学習センターのお計らいで、増ページとなり掲載できました。

アンケートで要望が多かった授業関連記事、2つの面接授業にお邪魔して取材させていただきました。退任された小方係長のご尽力と、先生、受講生みなさまに授業時間中写真撮影等ご協力いただきました。ありがとうございます。魅力的な授業の雰囲気ですこしでもお伝えできればと思っています。

大花さん、横山さんは編集部外からのご推薦もあり初の寄稿をお願いしました。また、カット絵は、ふゆだより以来になる、よーこさんに描いていただきました。

なつだよりのみなさまにお礼申し上げます。(H)

投稿募集

学習センターだよりでは、みなさまの投稿をお待ちしています。分野は問いませんが、放送大学の学生にとって興味のもてる話題が好ましいです。また、ご投稿いただいてから、掲載時期、掲載方法についてご相談させていただくことがありますのでご了承下さい。宛先は、電子メール:ksupport@ouj.ac.jp 〈K-サポート事務局〉または、神奈川学習センター事務室まで。

学生サークルからのお知らせ

○神奈川放友会

神奈川放友会は「交友を楽しみながら放送大学で学習を続ける会」です。

*****主な活動*****

★会員相互研究発表 ★リクリエーション

★会内同好会の活動 ★パソコン教育活動

8月:8月7日(日)「月例会および会員報告」

9月:9月16&17日 超人気の「一泊研修旅行」

場所:大学本部;初日研究発表;2日目「筑波宇宙センター」「地図と測量の科学館」見学。

年会費:2千円;但し10月新入会員は千円

ホームページ→<http://kanagawa-hoyukai.jp/>

文書責任者 神奈川放友会 金田 保男

○韓国語同好会

月例会:第一・第三土曜日(原則)見学自由!

10:00~12:00 通常学習

12:00~13:00 入門

13:00~15:00 自主学習

講師:横浜国大研究員 金蘭美先生

ホームページ <http://www.hangugo-club.org>

連絡先 murata@hanngugo-club.org

○放大かながわレク・サークル

★パソコン部:個人のニーズに応じた学習。

学習日時:第1、第3水曜日 13時30分~15時30分。

場所:神奈川学習センター 実習室:申込制

★ウォーキング部:月1回、「東海道五十三次」実施中。名所旧跡文化施設等も対象

★ウォークラリー:横浜市中区主催に毎年参加

★その他観劇、観光、映画、美術鑑賞等。

上記の各種活動はいずれも自由参加。

一会員募集中(随時申込・受付)一

問合せ:佐々木恭夫Tel/Fax045-871-7700

E-mail ugk37913@nifty.com

○人間学研究会

1. 例会の予定(いずれも午後1時開会)お問い合わせ

・参加申し込み:安田武夫TEL045-775-0879

・9月11日(日)「幕末期の在日外国公館について」

・10月2日(日)「ウズベキスタンの悠久の歴史と文化」

2. 歩きましょう

(お問合せ:大出鍋蔵 TEL046-841-7937)

・8月9~12日「秘境カムチャッカを訪ねる旅」

・8月24日「三国峠を歩く」

・8月26~27日「吉田の火祭り」と富士山麓散策」

・9月10~18日「西夏王国の幻影、黒水城とゴビ砂漠紀行」

○中国語学習会

☆学習日:第一、第三日曜日

☆学習時間:10時~12時 中級(王励老師)

13時~15時 初級(楊雪老師)

我が国の文化、言語などに影響を与えた国、近くて少し距離感のある国、難しいことはさておき純粋に中国語を楽しんでいます。学習日にぜひ見学にいらしてください。

☆連絡:万場(まんば)由美子

(046-293-5521)

○うえるかむKanagawa

☆例会は毎月第2第4水曜日(試験前などは変更あり)上級、中級、初級クラスに分かれて行きます。

午前中はアメリカ出身のRichard先生との英会話。午後はEnglish songとGroup studyです。午前、午後とも自分の能力に合うクラスを選択できます。

☆勉強会の他にも「ゲスト講演会」や「うえるかむ名画座」を開催。日程、題名等は談話室、掲示板にてお知らせします。会員へのお知らせや交流にはウェブサイト掲示板を利用しています。

☆活動の様子はHPをご覧ください。

URL <http://welcome-kanagawa.jimdo.com/>

☆8月第4水曜日午後に暑気払い。9月に「うえるかむ名画座」を開催予定。

☆英語に興味のある方、一歩踏み出してみませんか?楽しい仲間がいつでも「うえるかむ」です。

☆ (渋谷 記)

☆問い合わせ 星(045-844-9647)

reikosunflower@yahoo.co.jp

○ダンスサークル（社交ダンス）

レッスン日 毎月第2火曜日と第4火曜日

時間 午後2時～4時

費用 年会費 入会時に1000円

（以後毎年1000円） レッスン料 月1500円

場所 第7講義室

その他 全科履修生は体育実技（1単位）が取得できます。今回の第25回フェスタで、初めてのダンスパフォーマンスを致します。是非ご覧ください！ご自由に参加頂けるフリータイムもあります。一緒に踊りましょう！

お問い合わせ 放送大学ダンスサークル
宮川 Tel.045-933-9753

○神奈川合唱団

楽しく一緒に唱いましょう。

毎年学位記授与式にNHKホールにて学歌を唱います。今年は震災のため中止になってしまいました。発声法。柔軟体操と力を入れた指導を受けています。また“歌声喫茶”を儲け仲間との親睦を深めています。気軽に見学においで下さい。

場所 大岡地区センター（神奈川学習センターの向い側）

第1、第3水曜日 午後6時～8時30分

連絡先 家田 0466-34-7545

赤松 044-288-0655

○資格取得研究会

看護・福祉分野のキャリアアップや進学・就職を目指す集まりです。現在、看護学士と放送大卒を目指す方、看護師試験を受ける方、医療関係、福祉関係のキャリアアップや認定心理士を取られる方などで構成されています。内容は例会（情報交換）と講演会の聴講、見学会など。

これからの例会予定

・8月21日（日）10:00 学習センター第6講義室

・9月4日（日）フェスタ・ヨコハマを共同開催

・10月2日（日）13:00 学習センター講義室未定

会費：¥500（1年間）

ホームページ…<http://shikaku.yumesora.net>

お問い合わせ…080-5546-7913（はこぎき）

神奈川同窓会だより

5月に第22回総会があり、新年度の活動が進んでおります。

☆ 運営体制の強化のために、准役員制度を設け12名の方々に参加していただきました。早速、放送大学叢書の販売で活動して頂いております。

☆ 7月3日、歌舞伎観賞会が20名の参加を得て行われました。上演は『義経千本桜』などでした。開演前に、伝統芸能情報館・情報展示室で、「歌舞伎入門～義経千本桜の世界～」を見たことが、3時からの公演の参考になりました。

☆ 今年もフェスタ・ヨコハマで「お抹茶コーナー」を行います。ビンゴゲームとともにフェスタを盛り上げていけるよう準備を始めました。

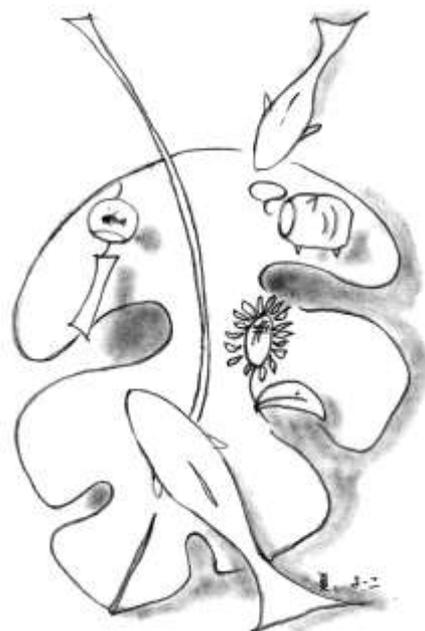
☆ 機関誌『波濤』41号を7月9日発送します。大震災関連の特集号となっています。

行事・イベントのお知らせ

○神奈川学習センター学園祭「フェスタ・ヨコハマ」

9月4日（日）記念講演「情報と教育」講師：岡部洋一 放送大学学長（10:00～12:00）交歓親睦パーティ（稲荷寿司やきそば等の立食）（12:30～15:00）※上記行事の参加には、参加券（頒価1,000円・当日券は無く、事前入手必須）が、必要です。単位認定試験期間中、神奈川学習センターロビーにて頒布します。

9月3日（土）大岡寄席、歌声喫茶、映画会、ダンス



学習センターからのお知らせ

◆ 学生募集について ◆

学ぶ喜びをより多くの方々に知っていただきたいと思い皆様のご家族・ご友人・知人に放送大学の魅力や利用方法をご紹介下さるようお願いいたします。

【平成23年度第2学期入学(10月入学)の教養学部生、大学院修士選科・科目生】

募集要項配布期間:6月1日(水)～8月31日(水)

出願受付期間 :6月1日(水)～8月31日(水)

【平成24年度第1学期入学(4月入学)の大学院修士全科生】

募集要項配布期間:6月17日(金)～9月2日(金)

出願受付期間 :8月19日(金)～9月2日(金)

※オープンキャンパス 8月6日(土), 8月14日(日), 8月20日(土)
8月21日(日), 各日とも午後 2:00～4:00 に開催。
個別相談会 8月23日(火)～8月31日(水)【月曜日を除く】
各日とも:午前 10:00～12:00、午後 2:00～5:00 に開催(予約制)
～皆様の多数の参加をお待ちしています～

ご家族・ご友人・知人の方を「神奈川学習センター」にご紹介下さい！

◆ 科目登録申請について ◆

平成23年度第2学期の科目登録申請は下記のとおりです。登録を忘れないようご注意ください！！

申請期間:平成23年8月10日(水)～平成23年8月31日(水)

対象学生:平成23年度第2学期に引続き学籍がある方

注意事項:◎在学生の次学期の科目登録(放送授業及び面接授業)申請です。

入学(出願)手続きとは申請期間が異なります。

◎インターネットでの科目登録も可能です。詳細は、「科目登録申請要項」をご確認下さい。

◆ 特別聴講学生募集について ◆

放送大学(神奈川学習センター)では、横浜国立大学と放送大学とが相互に単位を互換する協定を結び、双方向による単位互換を実施します。

これにより、放送大学の学生(全科履修生)は、単位互換協定を締結している横浜国立大学の授業科目を履修することができ、修得した単位は、放送大学の単位として認定されます。平成23年度2学期(後期)の募集については、神奈川学習センター掲示板・ホームページをご覧ください。

1. 出願資格 ①全科履修生
②本学の在学年数が1年以上の者
③放送授業科目において30単位以上を修得した者
(出願先「横浜国立大学」へ通学が可能である者。)
2. 出願のための履修相談先:神奈川学習センター事務室窓口

